

平成 30 年度

全国学力・学習状況調査の  
結果について



平成 30 年 12 月  
海老名市立大谷中学校

## 目次

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「理科に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 4
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 5
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 6



## 資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。  
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

### 【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

### 【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

### 【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

### 【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

### 【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

### 【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の方は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

### 【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

### 【基本的生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

# 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました

## ◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## ◆ 調査の対象

- 国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒
- ・ 小学校第6学年
  - ・ 中学校第3学年

## ◆ 調査内容

### (1) 教科に関する調査

#### 【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

#### 【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

### (2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

### (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

## ◆ 調査実施日

平成30年4月17日(火)



# 国語に関する調査結果

## 国語 A (主として「知識」に関する問題)

### 《優れている所》

- 読むことの領域に優れています。特に問題5の設問一で問われた、段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てる力に優れています。
- 言語についての知識・理解・技能にも優れています。特に問題8の設問五で問われた行書の基礎的な書き方の理解や、設問六3で問われた古典に表れたものの見方や考え方の理解に優れた成果が見られます。

### 《努力を要する所》

- 話すことの基礎的な領域に課題が見られました。特に問題6の設問二で問われた、話し合いの話題や方向を捉えて的確に話す力に努力が必要です。発言にあたっての条件を満たしきれていなかったり、相手に伝わるように表現しきれなかったりする解答が多く見られました。

## 国語 B (主として「活用」に関する問題)

### 《優れている所》

- 話すこと・聞くことの活用領域に優れた成果が見られました。特に問題2で問われた、質問の意図を捉える力、話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問する力に顕著な成果が見られました。
- 全体と部分との関係に注意し、相手の反応を踏まえながら話す力にも優れています。

### 《努力を要する所》

- 読みを踏まえて書く力に努力が必要です。問題1設問三で問われた、目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く課題では、無解答率が少なく大いに意欲は認められますが、文章から必要な内容が捉えられていなかったり、目的に応じた読み取りができていなかったりと思われる解答が多く見られました。

## これまでの取組から

- 読みを深めるために、毎時間の授業で話し合いの活動場面を設定するようにはしてきました。
- 自分の意見を文章にまとめる活動を多く設けてきました。

## 今後の具体的な取組について

- 話し合いの際、目的や話題、方向を的確に捉えて話したり聞いたりするよう指導を工夫します。
- 目的に応じて文章の内容を読み取る力を高める工夫をします。文章の中心的な部分、意見と事実の読み分け、文章の構成や展開を捉えて内容を理解する指導を積み重ねていきます。

# 数学に関する調査結果

## 数学 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 数と式の領域に優れています。特に、文字式に数を代入して式の値を求めたり、比例式を解いたり、連立二元一次方程式をつくるために着目すべき数量を選び式に表すなどの技能に優れています。
- 評価観点の視点からは、数学的な基本技能に優れています。特に問題15の設問(2)で問われた、表などを利用して確率を求める技能に優れた成果が見られました。

《努力を要する所》

- 資料活用の領域に努力が必要です。特に相対度数の値が一定の値に近づくことを理解していない、あるいは、一定の値には近づかないと捉えている解答が多く見られました。
- 評価観点の視点からは、知識・理解に課題が見られました。特に底面が合同で高さが等しい四角錐と四角柱の体積の関係についての理解が不足し、 $\frac{1}{3}$ のところを $\frac{1}{2}$ とする解答が多く見られました。

## 数学 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 関数の領域に優れています。特に問題3設問(2)で問われた、グラフから必要な情報を読み取り事象を数学的に解釈する力に優れています。
- 評価観点の視点からは、数学的な見方や考え方に優れています。問題4の設問(2)で問われた、図形領域において、条件の変更に応じて証明の一部を書き直すなど、発展的に考える力に優れた成果が見られました。

《努力を要する所》

- 資料活用の領域に努力が必要です。特に問題1設問(2)で問われた、与えられた情報を分類整理し、確率を求める力に課題が見られました。情報の一部にのみ着目した解答が多く見られました。
- 評価観点からは、数学的スキルに課題が見られました。特に問題5の設問(1)、団体料金の割引率を求める課題で、百分率で表現することができない、あるいは分子と分母が逆の解答が多く見られました。

## これまでの取組から

- 計算の基礎基本を習得するため多くの問題に取り組みました。また、日々の学習の中で計算方法の理解を振り返る場面を設けてきました。
- 関数の学習では、値の意味について深く考える機会を多く設けました。

## 今後の具体的な取組について

- 確率の意味について、実感を伴って理解が深められるよう、観察や実験などの活動を設定したり、実生活の場面で目的に応じて事象を数値化して判断する場面を設けたりするなど、指導を工夫します。
- 柱体と錐体の体積の関係をはじめ空間図形の理解を深めるために、予測を立て、模型を用いた実験による測定で検証するなど、指導を工夫します。

## 理科に関する調査結果

### 《優れている所》

- 分野等の視点からは、第一分野の物理的領域に優れています。  
特に問題6で問われた「電流とその利用」については、知識・活用とも高い成果を発揮しました。電流計に係る回路接続の技能および電気用図記号の知識、実験結果から電流の値を読み取る技能、オームの法則を使って抵抗の値を求める知識・理解、また、習得した知識をもとに実験結果を分析・解釈し、発生する光と電力との関係を指摘する「活用」の力に優れています。
- 評価観点の視点からは、関心・意欲・態度に優れています。  
特に問題8の設問(3)で問われた、探求の過程を振り返り、アルミニウムが水の温度変化に関係していることについて、解決した課題をさらに深める新たな疑問をもち課題を見いだす力に高い成果が見られました。

### 《努力を要する所》

- 分野等の視点からは、第一分野の化学的領域に努力が必要です。  
特に問題2の設問(2)で問われた溶質と溶媒の質量の組合せから水溶液の濃度の高低を判断する知識・理解、特定の質量パーセント濃度を求める技能に課題が見られました。  
また、問題4の設問(3)で問われた、既習の知識を活用して、化学変化を表したモデルを検討・改善し、原子や分子のモデルで説明する科学的な思考力・表現力に課題が見られました。
- 評価観点の視点からは、観察・実験の技能に努力が必要です。  
特に問題4の設問(1)で問われた、ガスバーナーの空気の量を調節する基本的な技能に関する知識に課題が見られました。

### これまでの取組から

- 実験の際には、目的を明確に捉え、実験で得られた結果から何が分かったのか、感想ではなく、自分なりの考えを書くことに意識して取り組みました。

### 今後の具体的な取組について

- 特定の質量パーセント濃度の水溶液を自らつくる場面を設定し、溶液と溶媒と溶質の質量の関係に注意しながら確認をしたり、線分図を利用し溶質と溶媒の割合の関係を視覚的に捉えられたりする学習を工夫します。
- ガスバーナーの各部の名称と機能などの基本的な知識を改めて確認し、炎を適正な色と大きさにする操作を繰り返し行い、技能を確実にします。

# 生徒質問紙の結果より

## 学習について

《よかった所》

- 学習への誠実な意欲が認められます。家で学校の宿題をしていますかの質問に、「している」という回答が73.8%(+5.3)、「どちらかといえばしている」を含めた肯定的な回答は93.3%(+1.7)といずれも全国平均を上回っています。
- 話し合いにより考えを深めたり広げたりすることへの肯定的な回答は79.2%(+2.9)と、共同的な学習に意欲と成果が認められます。

《課題と思われる所》

- 家で自ら計画を立てて勉強をしていますかの質問に肯定的な回答は44.5%(-7.6)と、学習への主体的な姿勢を高めることが望まれます。
- 公式やきまりを習うときに、その根拠を理解しようとしていますかの質問に肯定的な回答が62.8%(-7.6)と、自ら思考を深めようとする姿勢を高めることが望まれます。

## 生活について

《よかった所》

- 規範意識が高いです。学校の規則を守っていますかの質問に96.4%(+1.3)、いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますかに95.7%(+0.2)と、いずれの質問に対しても、肯定的な回答が全校平均より上回っています。
- 人の役に立つ人間になりたいですかの質問に95.1%(+0.2)が肯定的に回答しており、人や社会への関わりに前向きな意欲が認められます。

《課題と思われる所》

- 生活習慣に課題が見られます。朝食を毎日食べていますかの質問に91.4%(-0.5)、毎日同じくらいの時刻に寝ていますかに66.5%(-7.7)、毎日同じくらいの時刻に起きていますかに86.6%(-3.7)と、いずれも肯定的な回答が全国平均を下回っています。
- 自尊心を高めたいです。自分にはいいところがあると思いますかの質問に肯定的な回答は76.3%(-2.5)と、自己の良さを見出せていないという回答が比較的多く見られました。

## これまでの取組から

- 人間関係作りに重点を置き、構成的グループエンカウンターをはじめとする意図的・積極的なねらいをもった活動を定期的を実施してきました。
- 学校生活全般において、文章を書く場面を増やして、書くことへの抵抗感を減らし、意欲と自信の向上に努めてきました。

## 今後の具体的な取組について

- 学習内容を、普段の生活にどう生かせるかを考えるなど、日常生活や社会とのつながりの中で捉えさせ、主体的な意欲を高めていきます。
- 引き続き人間関係作りに重点を置き、互いに認め合い高め合う関わりの向上を図るなかで、個々の自尊心の高まりを目指します。

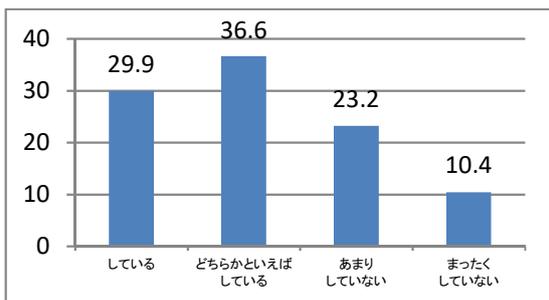
# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

## 1 基本的な生活習慣を整えましょう。

生活習慣を整えることは、健康の保持増進とともに、学力を押し上げる基礎にもなります。

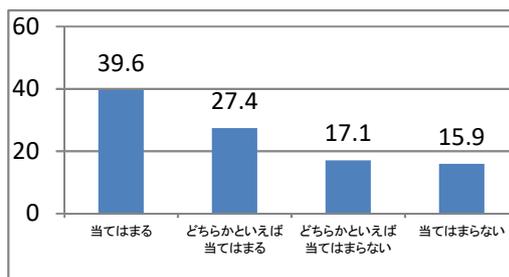
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



## 2 将来の夢や目標について語り合いましょう。

「夢＝職業」という捉え方から広げて、「どんな人になりたい」という視点から考えてみましょう。

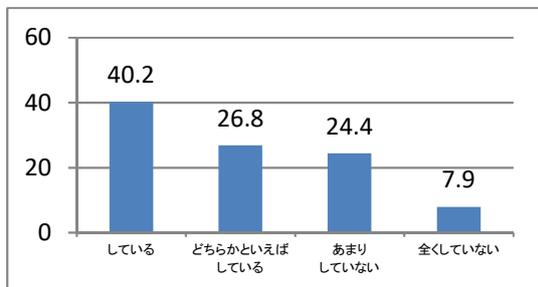
将来の夢や目標を持っていますか。



## 3 家族それぞれの出来事を話す時間を大切にしましょう。

家族でのあたたかな語り合いの時間は、明日を前向きに生きるエネルギーになります。

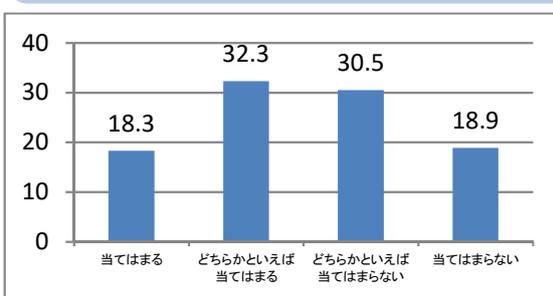
家の人(兄弟姉妹を除く)と学校の出来事について話しますか。



## 4 地域や社会の問題や出来事について家族で話しましょう。

学校での学びを社会につなげて深めたり、知的好奇心を高めたりするきっかけにもなります。

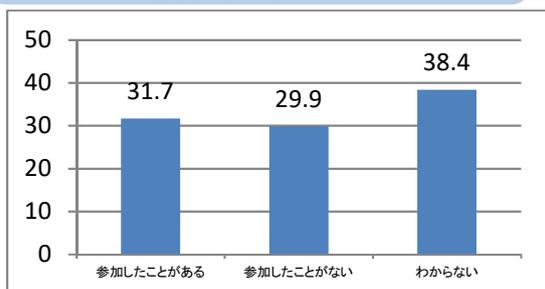
地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか。



## 5 地域のボランティア活動に参加しましょう。

人の役に立ちたいと願っている生徒はたくさんいます。機会やきっかけを探してみましょう。

地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。



## 6 新聞を読みましょう。

テレビやインターネットのニュースも貴重な情報源ですが、紙面で読む有効性にもさまざまな高いものがあります。

新聞を読んでいますか。

